

第2期かがみの創生総合戦略 効果検証資料

資料1

1. 人口の現状

(1) 鏡野町人口ビジョンの推計値に対する実績値

国勢調査ベース	H27	～	R2	～	R7
人口ビジョン推計値	—		12,137		11,443
国勢調査結果	12,847	(5年に1度調査)	12,062	(5年に1度調査)	—

(参考) 住民基本台帳人口ベース	H27	～	R2	R3	R4	R5	R6	R7
各年1月1日現在人口	13,773	～	12,859	12,739	12,610	12,468	12,265	12,017

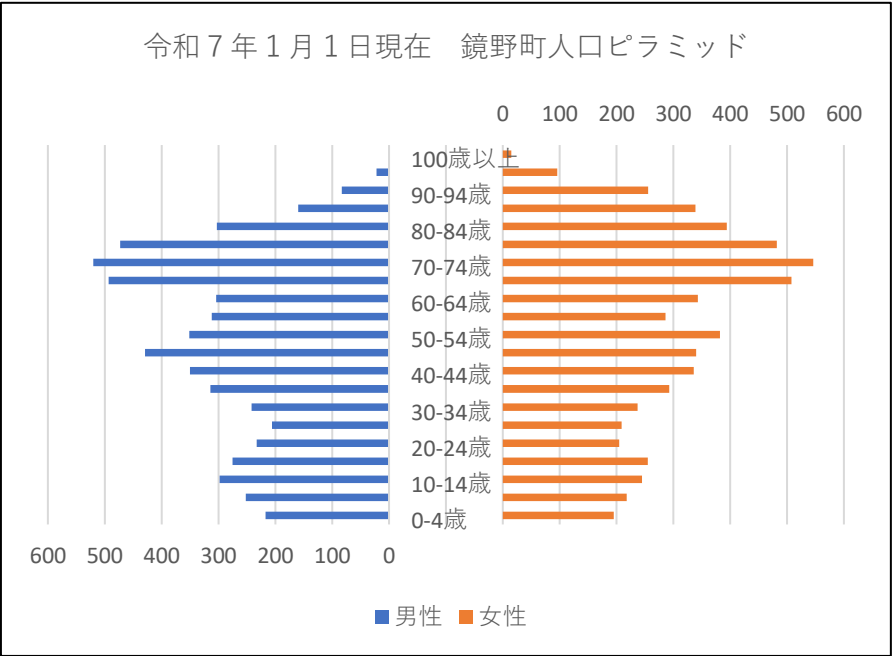
鏡野町の人口は減少傾向であり、令和2(2020)年国勢調査の結果では、「鏡野町人口ビジョン」(平成27(2015)年策定)の推計値より低い水準となっている。国勢調査の人口と住民基本台帳の人口はかい離があるが、減少率はほぼ同じである。

(2) 令和7年1月1日現在の鏡野町人口構成

R7.1.1人口構成	男	女	合計	(構成比)
0～14歳	767	658	1,425	11.9%
15～64歳	3,016	2,886	5,902	49.1%
65歳以上	2,054	2,636	4,690	39.0%
(再掲) 75歳以上	1,041	1,582	2,623	21.8%

出典：住民基本台帳データ

高齢化率(65歳以上人口)は39.0%(R6:38.7%)であり、右の人口ピラミッドから70-74歳が最も多く、次点で65-69歳が多くなっている。

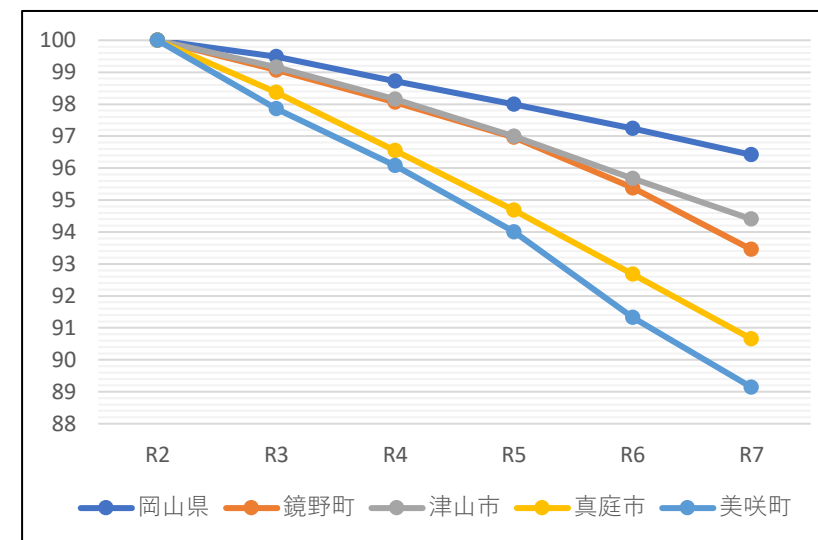


(3) 周辺市町村の人口増減率（1月1日時点・前年比）の状況

	R3	R4	R5	R6	R7
岡山県平均	-0.51	-0.77	-0.73	-0.77	-0.85
鏡野町	-0.93	-1.01	-1.13	-1.63	-2.02
津山市	-0.84	-1.01	-1.18	-1.36	-1.33
真庭市	-1.63	-1.86	-1.93	-2.12	-2.18
美咲町	-2.14	-1.82	-2.15	-2.85	-2.39

出典：総務省公表「住民基本台帳人口・世帯数、人口動態（市区町村別）」

※グラフはR2=100として各年の増減率を考慮した計算結果を反映

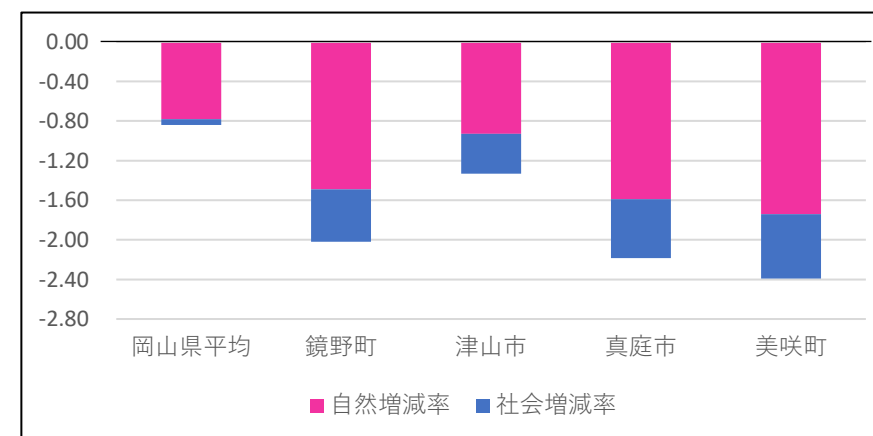


令和2年からの人口増減率を見ると、岡山県平均を含め、比較したいずれの市町においても人口減となっている。減少率の大きさを見ると、鏡野町は県平均及び津山市より大きく、真庭市と美咲町より小さい結果となっている。

(4) 周辺市町村の令和6年中の自然増減率と社会増減率

	自然増減率	社会増減率
岡山県平均	-0.78	-0.06
鏡野町	-1.49	-0.53
津山市	-0.93	-0.40
真庭市	-1.59	-0.59
美咲町	-1.74	-0.65

出典：総務省公表資料「住民基本台帳人口・世帯数、人口動態（市区町村別）」



令和6年中の自然増減率と社会増減率を見ると、県平均及び4市町の自然増減率及び社会増減率についていずれもマイナスとなっている。

2. 各目標の評価と今後の方針

■達成度（進捗度）の判断基準

達成度（進捗度）の比率の算出方法	判断基準	
達成度 ：目標値の設定が単年度ごとの場合（例：年間〇件） ⇒ 【実績値÷目標値】 進捗度 ：目標値の設定が計画期間を通しての場合（例：5年で〇件） ⇒ 【実績値累計÷（目標値÷5×4年）】 ※国勢調査により5年に1度の把握となる指標については「－」とする。	◎	目標値を大幅に超えて達成できた（120%以上）
	○	達成できた（100%～120%未満）
	△	達成できなかった（100%未満）

■達成度総括表

【基本目標1】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	15歳以上就業者数（国勢調査）	－	6		3	0	3
【基本目標2】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	合計特殊出生率	△	3		0	1	2
【基本目標3】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	交流人口	◎	3		1	0	2
【基本目標4】	基本とする目標	達成度	指標数	内訳	◎	○	△
	住み続けたい割合	△	3		2	0	1

【基本目標 1】

安定した雇用を創出する

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	—	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
15歳以上就業者数（国勢調査）	6,289人 (2015年)	5,576人 (2025年)	5,890 (2020年)	—	—	—		—

基本目標 1 取組と効果検証

基本目標として掲げる「15歳以上就業者数」については、令和2（2020）年国勢調査の結果によると、5,890人であった。（調査は5年に1度）

「6次産業化の取組事例数」は0件であり、新たな事業所の開拓が行えなかった。

「新規創業・起業件数」については、5年度から継続的に相談していたケースもあり、今年度実績として10件の創業があった。

「エコツーリズムルート開拓件数」については昨年度に目標値を達成しており、令和5年7月に（一社）鏡野観光局が立ち上がり、5年度に引き続きアドベンチャーツーリズムを推進するための新規ルート(プラン)を開拓することができた。しかし、令和5年度台風7号等の災害被害の影響により、登山道などの復旧や奥津湖総合案内所みずの郷奥津湖の改修などがあり、観光施設の休館により、入込客数が大幅に減少した。

「新規就農者数」については、新規就農奨励金による手厚いサポートに魅力を感じて本町で新規就農を志す方が増加し、目標値に対して高い進捗率で推移している。ただ、集落営農組織については、高齢化に起因する組織解散への対策が求められている。地域で法人化を希望する農業者の相談はあるものの、組織化には至っていない。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
6次産業化の取組事例数	—	計5件	1	1	0	0		△
新規創業・起業件数	—	計20件	9	9	4	10		◎
エコツーリズムルート開拓件数	—	計5件	2	3	2	2		◎
新規就農者数	—	計15人	3	5	5	5		◎
集落営農組織の設立	—	計1団体	0	0	0	0		△
観光入込客数	729千人	年900千人	790	947	828	740		△

【基本目標２】

子育て世代に選ばれる環境づくり

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	—	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
合計特殊出生率	2.04 (H28)	2.04	2.12	1.77	1.98	1.88		△

基本目標２ 取組と効果検証

基本目標として掲げる「合計特殊出生率」は、1.88であり、目標である令和7年度2.04を下回った。

令和6年度は、おむつ助成の対象年齢引き上げやおむつ用ごみ袋のサイズ拡大などの制度拡充、子ども第三の居場所やこども家庭センターの設置等、子育て支援体制の整備に取り組んだ。「子育てしやすい町だと感じている町民の割合」の昨年度比較のポイント上昇は、これらの取組が評価されたものと考ええる。しかしながら、目標値にはわずかに達していないため、令和7年度からの第3期子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て世帯のニーズを取り入れた事業展開を図り、さらなる事業改善に取り組む必要がある。

放課後児童クラブについては、香々美学区児童クラブ及び大野学区児童クラブの施設拡張等に取り組み、利用希望者全員の受入れを行った。保育園等の待機児童は前年度よりも減少し、広域保育や一時預かり等の相談にも丁寧に対応している。これらの取組により、「仕事と子育てが両立できていると思う町民の割合」について、30歳代は目標値を下回ったものの、その他の年齢層では目標値を超えた評価となっている。今後も待機児童の解消に向けて、入園調整や保育士等の人材確保に取り組む、子どもを安心して預けることができる体制づくりに努める。

出生児数は67人で目標値を大きく下回った。妊婦の転入と転出が同数で実質的な増加がなかったことが要因の一つだが、女性人口の減少により目標そのものが達成困難な数字になってきている。出生数の増加に向けては、子育て支援施策だけでなく、女性や若年層の流出を食い止める施策や結婚の希望をかなえる施策、まちづくりや産業、雇用など様々な施策に取り組む必要がある。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
子育てしやすい町だと感じている町民の割合	89.8%	90%	90	84.8	88.6	89.8		△
仕事と子育てが両立できていると思う町民の割合	80.7%	75%	71.3	75.9	68.8	80.7		○
年間の出生数	90人	90人	91	67	84	67		△

【基本目標3】

新しい人の流れをつくる

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
交流人口	47,640人	毎年 3万人以上	54,896	63,906	30,236	43,792		◎

基本目標3 取組と効果検証

基本目標として掲げる「交流人口」は43,792人となり、目標値は達成した。新型コロナの5類移行の影響や自然アクティビティブームにより回復傾向であったが、令和5年8月に発生した台風7号の災害被害により町内施設等が通常営業できなかったことが要因として考えられる。

移住相談件数及び移住体験ツアーの利用者数は前年度より大きく増加した。今後は、SNSの活用強化を行い移住者の増加に努める。

「文化・スポーツ合宿招致数」は1件であり、目標値を大きく下回った。町内宿泊施設の閉館(令和4年11月)及び台風7号の影響によるものと考えられる。

「ふるさと納税の寄附者数」は3,362件であり、目標値を達成できた。ふるさと納税の運営や管理などのノウハウを持った中間事業者と委託契約を締結し、6年度より毎月事業者を訪問するなど返礼品の充実を図り、また、ポータルサイトも増やしたことで、寄附者の増加につながった。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
移住者数	14	年間30人	31	23	10	25		△
文化・スポーツ合宿招致数	4件	年間20件	3	7	1	1		△
ふるさと納税の寄附者数	1,121件	年間 1,000件以上	1,067	903	897	3,362		◎

【基本目標 4】

住み続けたい魅力あるまちをつくる

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
住み続けたい割合	86.9%	88%	83.9	85.7	89.6	85.9		△

基本目標 4 取組と効果検証

基本目標として掲げる「住み続けたい割合」は、令和5年度から3.7ポイント減少し、85.9%で目標値を達成できなかった。年代別では、10歳代・30歳代が5年度に比べ大きく減少している。なお、60歳代以上は90%以上が住み続けたいとなっている。

「町営バス・乗り合いタクシー乗車人数」は9,685人となり、目標値を下回ったが、高校生の通学助成の見直しを行い、学生の利用が増えたため、目標値に及ばないものの数値的には上昇してきた。今後は、より利便性の高いダイヤやルートへの見直しが必要である。

「要介護認定率」は、県平均より3.7ポイント低く、目標値を達成した。「ガンバランドかがみの」等の総合事業が介護予防に一定の寄与をしていると考える。

「省エネ機器導入促進補助金申請件数」は、97件で目標値を達成した。エネルギーコストの上昇により、省エネ機器の需要が高まっている。また、国庫補助と併用できるため申請件数が目標を上回ったと考えられる。

数値目標	現状値	目標値	実績数値					達成度 (進捗度)
	R2	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
町営バス・乗り合いタクシー乗車人数	10,001人	14,000人	8,838	7,132	8,023	9,685		△
要介護認定率	2.5	県平均より 2%低い率	2.2	2.6	2.6	3.7		◎
省エネ機器導入促進補助金申請件数	96件	年間80件	83	80	96	97		◎

【横断的な目標 1】 多様な人材の活躍を推進する

昨年に引き続き、行政評価外部評価委員会のほか、町が行う各種委員会等において様々な職種の方に関わっていただき、施策を推進した。

【横断的な目標 2】 新しい時代の流れを力にする

デジタル社会実現に向けた国の方針を受け、引き続き行政手続きオンライン化等を推進した。